

児童養護施設
大村子供の家



皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします。理事長 松本厚生

新年を迎えて

社会福祉法人 大村子供の家
理事長 松本 厚生

新年明けましておめでとうございます。本年も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。大村子供の家では、「家庭的な養育」をキーワードに、十数年前から養育の場の小規模化・地域分散化を進めてまいりました。二〇一七年八月には国から「新しい社会的養育ビジョン」が示され、今後ますます、里親養育の推進と、施設の小規模化・地域分散化が求められています。

国のいう「子どもの最善の利益」「家庭的な当たり前の生活」とは一体どういうものなのか、日々考えながら、我々職員は子どもと接してありますが、入所する子どもたちの多様化、ホームの分散化に伴い、職員に求められる役割も多様になり、職員の負担や心労も多くなっていることも事実です。職員に対する配慮を今後一層行くとともに、各ホームが閉鎖的あるいは独善的にならないよう、チームワークと職員一人一人の質向上によって、「子どもの最善の利益」と「家庭的な当たり前の生活」の実現を目指したいと考えています。

また、新ビジョンにより、施設の多機能化・高機能化が求められています。社会福祉法人大村子供の家では、これまで培ってきた子どもたちの養育に関する経験・ノウハウを活かし、児童養護施設の子どもたちだけでなく、地域の子どもたちにも裨益する様々な活動を実施していきたいと思っております。昨年十月に放課後児童クラブを開所し、今年四月には大村市の待機児童問題解消のため認定こども園を開園予定で、現在準備を進めております。

「子どもは宝」を合言葉に、地域で協力しながら、明るい将来を担う子どもたちを育てていくため、大村子供の家は引き続き歩みを進めてまいります。皆様の「理解とお力添えを今後ともどうぞよろしくお祈りします。」

うちのごはん（坂田ホーム）

こんにちは坂田ホームです。今回は毎日美味しい夕食を作ってくれる時任さんのプロフィールと手料理を紹介したいと思います。

毎日、元気に歩いて坂田ホームに出勤される時任さん。「やっぱり歩かないとダメよ。体が鈍るから」と万歩計をポケットに入れ、せかせかと歩く軽やかな足取りは、とても70代には見えません！時任さんは、第一小規模（坂田ホーム）立ち上げの時から勤務をされており、今年でなんと10年目。今も以前と変わらず現役バリバリのパワフルな先生です★（笑）

そんな時任さんが作る手料理で子供たちもすくすく育ち、日々の会話の中で「明日何が食べたいのね」「唐揚げ！でもトマトは苦手だから少なくしてね」と次の日のメニューが決まります。まるでおばあちゃんと孫の様……。これからも元気に長生きして下さいね。

そして子供たちに人気のメニューはこちら★
シラスチャーハンとカボチャスープです。シラスチャーハンにはシラスとコーンが沢山入っていて食べ応え抜群。カボチャスープはカボチャを煮るところから始まり、子ども達と楽しく話をしながらスープを頂きます。

毎日美味しいご飯と楽しい食事。これが坂田ホームの元気の源です。



ヒューマンストーリー

増田 初一 大工職人として子どもたちを支援

大工の父と専業主婦だった母のもと、4人兄弟の長男として大村市須田の木町に生まれた。小さい時から近所の畑の野菜を引っっこ抜くなど悪戯はよくしていたが、正義感が強く弱い者いじめや、喧嘩はせず、むしろ仲裁にはいっていたほう。小学生の時、同級生の女の子から「はんめちゃん（初ちゃん）」と呼ばれ、それ以降70年以上友人たちからは今でも「はんめちゃん」と呼ばれている。

勉強嫌いだが大工は好きで、中学生の時バスケット部でセンターとして活躍。中体連では優勝した。拘束されるのが嫌いで、高校一年の時勉強がおもしろくないと中退を決断。若い時はバイクに乗り喫茶店にほぼ毎日通い、友だちとたむろするなど青春を謳歌。父の影響からか大工の道に進み型枠工事などの手伝いをしていった。ある日、先輩から「増田くんはくぎ打ちが早かね〜」と褒められ嬉しかったのを覚えている。その後も大工の現場で、技術と経験を積み上げていった。25歳で結婚、その後4人の娘にも恵まれた。

建築士の資格を取ったのは30歳くらいのころ。当時、先輩が何度も試験に挑戦しては落とされ落胆していたのを横目にどんなもんかと自分も受けてみたところなんと1発で合格。その後、個人で仕事を続け45歳で会社を立ち上げた。30~40代の頃はとにかく忙しかった。大村市のあらゆる大型工事に加わりビルや小学校の体育館建設に奔走。市内の30以上の橋をかける工事にも携わった。子供の家の建替工事にも関わった。その頃は仕事の付き合いが多く疲れを忘れたい思いもあってか、毎晩お酒を仲間と腹いっぱい飲み、いよいよアル中になりかけていたが、38歳の時双子の娘が生まれたと同時に「これじゃいかん」と酒を控えるようになった。同級生の「あっちゃん（松本施設長）」の相談を受け、子供の家の黒木キャンプ小屋を作ったり子供の家をリフォームしたりと以前から何かと子供の家とは縁があった。

その後も仕事を続けるが、世の不景気と共に会社の経営も右肩下がりとなり65歳で心臓病を患ったのをきっかけに会社を閉じた。時代の流れもあるが、職人気質の性格からか、利益度外視で、良いものを作ろうとこだわり過ぎた。あと体力的にももたなかった。

会社を閉じた後、しばらく放浪していたが、「することがない、これじゃいかん」と2年ほど経って趣味で家具づくり始めた。自分の拘る大村産ヒノキを使い、ベンチや椅子、テーブルを作っている。ヒノキは香りがよく虫がこない。木は加工後も炭酸ガスを吸い酸素を出す。人の身体に優しくリラックスできる。



波乱万丈の人生ではあるがいろんな仲間を支えられて今がある。自分一人ではできないことでも、仲間の力を借りて乗り越えてきた。仲間には感謝。仲間を大切にしていきたい。

行事予定

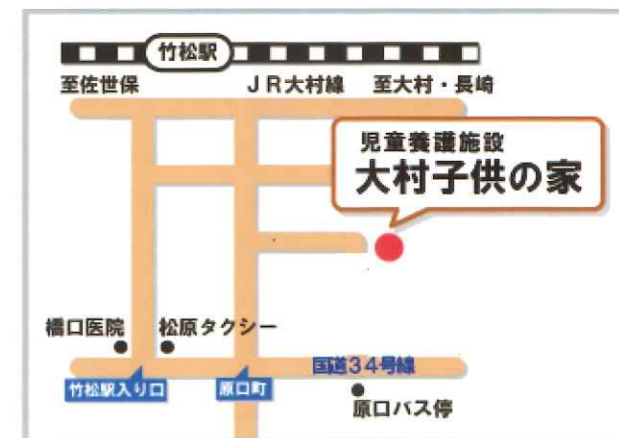
- 1月・・・新年祝賀会、お正月外出、成人の日、私立高校入試
- 2月・・・節分、職員県外研修
- 3月・・・就職・進学者激励会、送別会、卒業生送別旅行、お寺参り、公立高校入試



編集後記

皆様新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。「平成」も残り四ヶ月余りとなり、なんだか淋しい感じもしますが、新たな年号のスタートにより初心に戻り、子どもと一緒に楽しく共に成長していきたいと思っております。 KM

大村子供の家 〒856-0811 長崎県大村市原口町 591 番地 2
TEL 0957-55-8319 FAX 0957-55-4661



演劇部・主役として九州大会出場

7月号でもお話した、創成館高校に通う女の子Sさんが所属する演劇部が10月に行われた「長崎県高等学校総合文化祭演劇発表会」において最優秀賞を獲得し、県大会へ進みました！

そして、11月に行われた県大会においても最優秀賞を獲得し、12月の九州大会へ出場します！

今回の演目は、「アタシとケムシ」。この演目は堤中納言物語「虫めづる姫君」を題材にしたお話です。

そしてなんと彼女が主役の演目！ホームでも自室や入浴中のお風呂で彼女が練習している声を聞いています。ぜひ、12月の九州大会を突破し全国大会へ駒を進めてほしいものです。

ちなみに、現在ドラマで大ブレイク中の俳優、岡田健史さんも、高校時代、創成館高校演劇部の作品に出演されています（Sさんもばっちり共演していました。羨ましい・・・）。岡田さんは、そこで演技の魅力に惹かれ、俳優として芸能界入り。1年もたたないうちに、全国ドラマの主演男優を演じるなど活躍されています。

「先輩に続け」と、Sさんの益々の活躍を一同期待しております。みなさんも応援の程よろしくお願ひします！



岡田健史さん出演 「髪を梳かす八月」

クラブ活動に参加して

子供の家の子どもたちは、一部、小学生も剣道やバレー、サッカーなど地域の運動クラブに所属し、仲間と共に汗を流しています。そんな、子どもたちの声をお届けします。

サッカークラブ（小4 女兒）

私は、走ったりボールを蹴ったり、体を動かすことが大好きです。ホームの先生たちが、「サッカーやってみたら？」と言うので、おもいきって9月から地域のサッカークラブに通い始めました。練習は、火曜日・木曜日・土曜日の約2時間あり、時々日曜日には、練習試合があり試合に出場したりします。ゴールを決めて点数が入るととても嬉しく、もっと練習して上手くなり、たくさんゴールを決めていきたいです。



ドッジボールクラブ（小6 女兒）

今年の5月からドッジボールクラブに通い始めました。毎週木曜日（高学年だけ）と土曜日に練習があり、合宿や練習試合など仲の良いお友達と一緒に頑張っています。各チーム12名。1セット5分で試合をします。ドッジボールと聞くと学生時代に「友達とやった！」という方は大勢いらっしゃると思いますが、私が行っているドッジボールはボールをキャッチしたのに投球できる体制（投げる体制・攻撃体制）にならないと「キャッチ失敗」と見なされてしまいアウトになってしまうなど、他にも沢山の厳しいルールがあります。各小学校からメンバーが集まっていることもあり、入部をしてからお友達が増えました。現在は練習試合に向けて毎週練習を頑張っているの、こちらも本児の体調管理に気を付けていきたいと思います。



☆みんなで作ったクリスマスリース☆

昨年に引き続き、今年も各ホームでクリスマスリースを作りました。土台の輪（かずら）を作るため、材料をとり、中高生の男の子たちと黒木の山にかずらをとりに行き、とってきたかずらをせっせと編んで、各ホーム分の土台の完成。土台は9ホームに配分し、飾りつけは、ホームの子どもたちと先生にお任せしました。



どんぐりや松ぼっくりを拾って、リースに付けるホームもあれば、可愛いリボンや、ベルをつけたりと、それぞれの個性が出て、素敵な作品が出来上がりました。男の子のホームでも、慣れない手つきで一生命飾りつけを行い、女子ホームにも負けないうちにも可愛いリースが完成。手作りのリースは各ホームに飾られ、クリスマスシーズンは、ホームを温かく彩りました。

さあ、次はお正月の準備です！



世界の国からこんにちは！

キーブン・ヒアン、ケオ・ソファール、アルン・ピサ from Cambodia



みなさんこんにちは。私たちはカンボジアで教育関係の仕事をしており、この度、教育サポートセンター-KIZUNAと日本財団の支援を受け、11月10日から約1週間日本に滞在し、日本の教育現場や、子どもたちの現状を勉強しました。大村子供の家も見学させていただきました。

私たちの国、カンボジアを簡単ですが紹介します。東南アジアに位置し、ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟する国の一つです。雨季と乾季の2つの季節しかなく、比較的暑い国です。国民の90%が仏教徒で、アンコールワットという古代寺院が有名ですが皆さんご存知ですか？ 1973年から1993年にかけて、カンボジア内戦が勃発し、悲しい時代もありましたが、今は平和です。カンボジアの人はお米や、お米から作った麺をよく食べます。ヌンバンチョックは国民食で、日本のうどんみたいでおいしいですよ。

グルメや観光もいろいろありますので、皆さん是非カンボジアを訪れてみてください。



アンコールワット



ヌンバンチョック



ご寄付・ボランティア御礼

日頃より皆様方からの子ども達に対する温かいご支援誠にありがとうございます。今年も九州電力の方のご厚意で、餅つき・バーベキュー会を行ったり、佐世保米軍さんからはたくさんのクリスマスプレゼントを頂いたり、子ども達にとっては、笑顔がいっぱいの時間を過ごすことが出来ました。今年一年も、たくさんの招待行事やご寄付を頂き、子ども・職員一同、心から感謝申し上げます。



九州電力職員の皆さんとのバーベキュー会